持続可能な家族農業国際活動支援事業

【令和３年度予算概算決定額　27（27）百万円】

＜対策のポイント＞

世界の食料生産の８割以上を占める家族農業の重要性や課題を世界農業遺産（GIAHS）地域を事例として調査・分析し、その結果を国際社会に発信することにより、国連「家族農業の10年」の取組に寄与するとともに、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりダメージを受けている地域のインバウンド需要の回復に貢献し、持続可能な農業の促進を通じて、貧困撲滅や世界の食料安全保障の確立に貢献します。

＜政策目標＞

○　家族農業の活性化を通じて持続可能な農業を促進し、貧困撲滅や世界の食料安全保障の確立に貢献

○　世界及び日本で世界農業遺産（GIAHS）に認定される地域が増加

＜事業の内容＞

１．家族農業に関する調査分析

○　**家族農業が持続可能な農業や地域発展にどのように貢献し得るか等**について、特に**新型コロナウイルス感染症の蔓延がインバウンド需要やそれらを支える家族農業に大きな影響を与えている**ことから、この点を踏まえて、国内外のGIAHS認定地域を事例に、客観的な調査・分析を実施。

２．途上国関係者の招へい・研修

○　途上国の関係者を、**優良な家族農業が行われている我が国のGIAHS認定地域に招へいし、コミュニティ強化及び地域産業の活性化等に係る研修を実施。**

３．家族農業をテーマとした国際シンポジウムの開催

○　伝統的な家族農業が営まれている一方でGIAHS認定が進んでいない地域でワークショップを行うとともに、**農業分野の情報格差（デジタルデバイド）、インバウンドの回復等をテーマにして、我が国で国際シンポジウムを開催。**

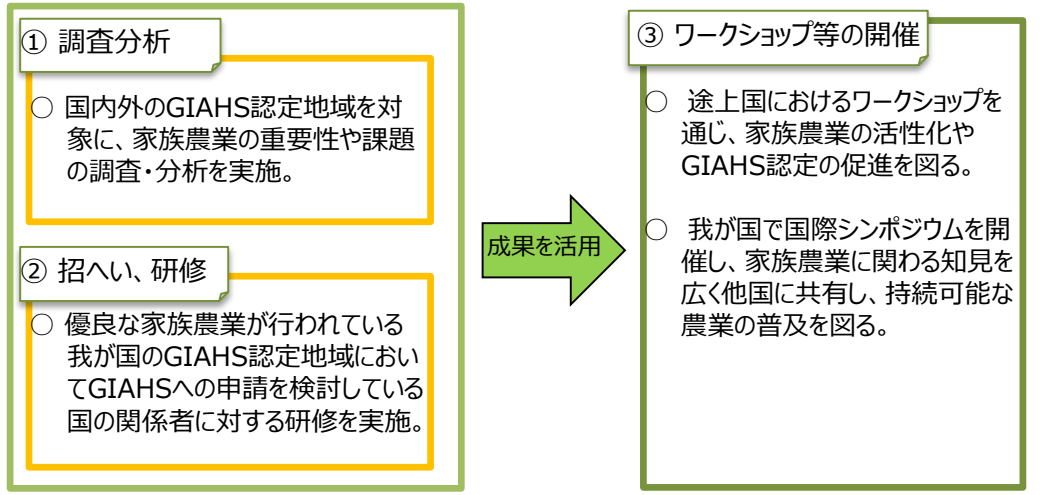
家族農業の10年とは..
　2017年12月の国連総会において2019～2028年が「家族農業の10年」に定められ、加盟国・機関は家族農業に係る知見の共有等が求められている。

世界農業遺産（GIAHS）とは..
　世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域をFAOが認定する制度。

＜事業の流れ＞

国　→（拠出金／日本（100%））→　国際連合食糧農業機関（FAO）

＜事業イメージ＞



期待される成果

○新型コロナウイルス感染症の蔓延によりダメージを受けている地域のインバウンド需要が回復する。
○持続可能な農業が促進され、貧困撲滅や世界の食料安全保障の確立が実現する。
○国内外でGIAHSが認知され、地元自治体がGIAHSを地元振興等に活用することにより、地域が活性化される。
○我が国の家族農業及び持続可能な農業の推進に関する取組等を国際社会に示すことにより、「家族農業の10年」に貢献する。

［お問い合わせ先］　（１）大臣官房新興地域グループ　（03-3502-5913）
　　（２）大臣官房国際機構グループ　（03-3502-8498）